

中鯨城会だより

第43号



表紙裏の説明をご覧ください

令和4年12月

発行 中 鯨 城 会

名古屋市高年大学鯨城学園

目 次

皆さんからの投稿	-----	3 ~ 15	ページ
第 16 回作品展	-----	16 ~ 23	ページ
作品に思う	-----	24 ~ 27	ページ

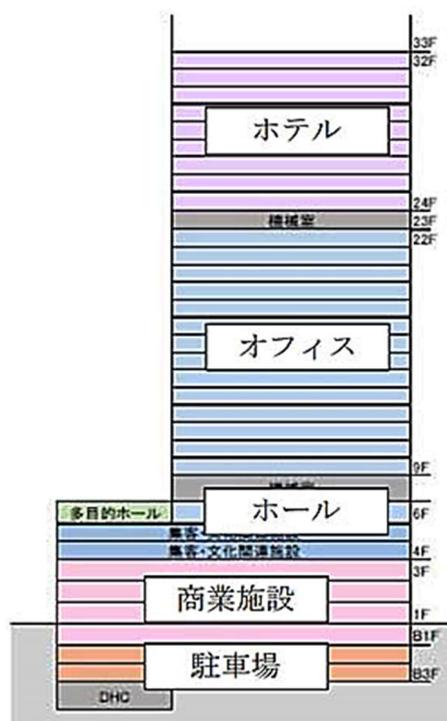
建て替え中の中日ビル (ネットより)

(工事中赤白の角クレーンが 2 本突き出ています 22 年 10 月)

旧中日ビルは、名古屋の中心部・栄のランドマークとして、1966 年に開業し、地下鉄栄駅に直結した抜群の利便性と、劇場、文化センター、飲食店、ショッピング街、催事場・宴会場、全国物産観光センターなどを持つ多目的なビルでした。

以前、現在建設中の土地に建っていた (旧)「中日ビル」は正式名称を「中部日本ビルディング」と言い、「中日ビル」は愛称でした。現在建築中の新ビルの正式名称も「中日ビル」であり、旧ビルの愛称が新ビルの正式名称として引き継がれることになりました。

2023 年 7 月末の完成を目指し建設が進められており、その成長スピードは速く、日に日に迫力を増しています。「中日ビル」は、地上 33 階、地下 5 階、高さ 158.877m、延べ面積約 117,000 m²の超高層ビルです。オフィス、ホテル、商業施設、多目的ホールなどで構成して、2024 年春に開業する予定で、地下 1 階～地上 3 階に商業施設、4～5 階に業務施設、6 階に多目的ホールや会議室、7 階に屋上広場や飲食店舗、8 階に機械室、9～22 階にオフィス、23 階に機械室、24～32 階にホテル、33 階に設備スペースを配置します。



面積は小売店舗が 7,625 m²、飲食店舗が 655 m²、事務室が 38,911 m²、ホテルが 12,628 m²、多目的ホールが 2,149 m²を想定しています。

早く利用できるように、素敵な「中日ビル」が待ち遠しいです。



カラオケ同好会

カラオケは演歌療法で健康寿命を高める

70歳を過ぎるとあちこちにガタが来るけれど演歌と出会い、おかげ様で体調がいい。演歌療法で効果を高める「腹式呼吸」深く息を吸いながら、ゆっくり吐き出して腹をへこませる呼吸法、そして複式発声ができるようになれば自然と歌がうまくなり心地



中日新聞

よい「ハイ」な状態となる、歌詞を丸暗記すると「脳細胞が活性化する」現在85歳、新しい歌にも挑戦、病院・薬知らず、会員も同じように健康そのもの。

お昼になれば各自持参の弁当でミニ宴会?で楽しんでいます。



鶴舞公園 花見会

春は桜の花見会・秋には北陸一泊カラオケ旅行を行っています。

コロナが終息した時は中区以外他のカラオケ団体とも交流して、演歌の輪を広げていきます。

歌に自信がある人、歌うことが好きな人集まれ！ 小倉 記



練習日時	毎月第2・4水曜日	午前10時～午後3時 (原則)
練習会場	ジャパンレンターカー	
参加費	200～300円 (参加人数により) 安い!	
代表	小倉靖生 080-3069-7060	

趣味で通っているNHK名古屋文化センター「相撲甚句を唄う会」の山浦義人講師が岡崎市のFMラジオ「どすこい！どすこい！」の番組を持っておられ毎週土曜日に放送されています。

一般にはあまり知られていない相撲甚句の起源、角界で使われている相撲言葉の豆知識など相撲甚句の魅力を紹介する番組です。

山浦先生が主宰する岡崎、豊田、名古屋の3教室の生徒をゲストに招きインタビューと得意の甚句を披露する内容で今回名古屋の私が出番となった。

生まれて初めてのラジオ収録とあって当日まで緊張しまくっていたが先生、進行役、アナウンサーのアットホームな雰囲気インタビューの応答、自作の相撲甚句も何とか無事に唄えて胸をなでおろした。

ラジオ収録に出演という貴重な初体験が出来、いい思い出となりました。



「和氣憲夫さんを偲ぶ会」

28期 生活A 水野 勇

2022年9月5日（月）、中鯨城28同期の9名が「和食・花見小路」へ集まり、昨年11月に亡くなられ仲間だった「和氣さんを偲ぶ会」を開きました。

黙祷が終わり、お元気だった頃の和氣さんのたくさんの話題でいっぱいでした。暫くして少しずつお酒も入り、いつもの様にわいわいガヤガヤと。前회가コロナでドタキャン以来の久しぶりの会合でしたので話も進み、その続きは山川さん宅へ移動して、又 わいわいガヤガヤと。

山川さん、大変お世話になりましたが楽しいひととき、どうもありがとうございました。

（出席：山川、佐藤、竹内、川合、成瀬、中川、荒川夫妻、水野）

中鯨城 講演会

28 期 生活 A 水野 勇

2022 年 9 月 7 日 (水)
中生涯学習センターで、講師を 25 期
高木義博さんをお願いして、講演会
「大化の改新の兄天智天皇と弟天武天皇
と女性たちの物語」を開きました。

前日の大雨から心配していましたが、朝からのお天気にも恵まれ、市内あちこちから 30 名ほどの皆さんにお出でいただき、高木先生の楽しい話術にも魅せられ 2 時間もあっという間に過ぎてしまい、皆さんも十分に楽しまれたことと思います。

多くの皆さんのご協力のお陰で無事に終わることが出来、ホッとしています。どうもありがとうございました。



中鯨城講演会担当



高木義博さんの講演会に参加して

25 期 生活 B 黒田 忠宏

高木さんとは鯨城学園で同じクラスで、机も前と後ろでした。私も歴史が好きで親近感を抱いています。今回、講演会を聞いて高木さんの学識の深さに感服しています。私が尊敬している方の言葉に「人様の前で話をさせていただくには普通の 3 倍以上の力量が必用である」と聞いておりました。高木さんは十分に準備しておられたと推察しています。16 区鯨城会会員の中にはそのぶんやで道を究められた方がおられると思います。その方々との交歓会も良いと思います。(自慢話にならない様にしたいものです)

16 区フェスに思う

29 期 文化A 大島 照代

数年前に第 1 回目の 16 区フェスがありました。

その時は実行委員のメンバーとしてどんな風にやるのかから始まって皆で話しながら試行錯誤でした。会長の提案で横断幕を作るメンバーで字の形や大きさなどなど大変な思いもしましたが楽しかったです。やっとリハーサルに向かう途中で父の死の知らせが入り、リハーサルも本番も参加出来ませんでした。

2 回目は実行委員長と共にお手伝いさせていただきました。

本番では司会・進行を仰せつかり人前でマイクをもって話す経験もないし、声も通らないしでドキドキでやったのを思い出します。会場の縁の方にいたクラスの友人が良く聞こえるよと声をかけてくれて少しホッとしたこともありました。

これはとても良い経験になったことを今は亡き会長で仲間感謝しています。

鯉城に入り、何の間違いか英語の苦手な私が英会話クラブに入ってしまったがそこで出会った仲間が素晴らしい人たちが多く、一緒にいろいろやった事も今の私の宝物！その時々経験が今、女性会をやらせていただいているのにとっても役に立っています。

第 3 回の 16 区フェスはこの女性会のイベントと重なって参加出来ず残念ですが、何事も 1 歩踏み出す勇気を持つことが大切である事を 身をもって感じています。

「名古屋を知り 川柳を教わりました」

30 期 地域 木原 榮二

鯉城学園入学の目的は名古屋を知ることでしたので「地域」を選びました、名古屋に定住して 50 年幹線道路を走るだけで、路地一本知りませんでした、そんな折、クラスメートのひとりが「名古屋城検定試験を受けませんか」と教科書、そして受験申込書まで準備してくれました、それは、お誘いではなく半強制的な感じでしたが、、試験は初・中・上級とあり取り敢えず初級を目指しました、ところが参考資料等を見ていると、この学園を目指した目的が適えられ、いやそれ以上に大きな教えがあることに気が付きました、

当地は清州越しから始まり発展して、今日がある、その間の諸々の出来事を時系列に知ることができ、ある程度理解もできたように思います、その後も名古屋城は勿論当地の名所旧跡を訪ねることが何よりの楽しみです、卒園後、中鯉城会に入会、「つくも」でのボランティア活動の先輩に「川柳教室」に誘われました、それから 3 年、上達は別にしてコロナ禍のなかボケ防止を兼ねて毎日楽しく「五七五」と指を折って過ごしております、

もう一つ有難いのは費用が掛からない楽しみなんです、なにしろ、紙、鉛筆、消しゴムだけで楽しく過ごせることが何より有難いと誘ってくれた先輩に感謝しています、

『高野山と東大寺・春日大社 2 日間の旅』

30 期 伊藤 守和

今回梅雨の合間を縫ってパッケージ旅行に参加してきました。1 日目は近鉄名古屋駅から 2020 年 3 月デビューの近鉄特急「ひのとりプレミアム席」にて大和八木駅までをくつろぎの気分で約 1 時間 30 分過ごし、バスにて 2 時間和歌山県高野山に向かいました。昼食後標高 900m の世界遺産高野山は弘法大師空海によって開かれた真言密教の修行道場で真言宗の総本山・開創 1200 年、樹齢数百年の杉木立に囲まれた参道を徒歩で往復 90 分、ガイドさん案内で 20 万基の墓碑が並ぶなかを豊臣家・上杉謙信・織田信長・石田三成・明智光秀・徳川家江姫・歴代天皇陵などを通り奥之院弘法大師御廟へ、合掌……。バスにて 10 分ほどの移動で北条政子が夫源頼朝の菩提寺として創建された金剛三昧院こんごうさんまいいん、本堂で愛涼明王に迷う心正しい道へと変え、あらゆる縁結ぶ仏様絵を拝み、源頼朝・北条政子・足利尊氏の位牌を拝み、国宝・多宝塔（1223 年鎌倉時代に建立高野山に現存する最も古い建物）見学して、再びバスにて 10 分で総本山金剛峯寺こんごうぶじ（豊臣秀吉が母堂の菩提寺として建立、高野山真言宗三千六百カ寺の総本山）見学し、バスで 1 時間半奈良県橿原市内のホテルへ、途中でスマホを見ると奈良市大和西大寺駅で選挙運動中襲撃され安倍前総理が心肺停止状態の大ニュースがホテル到着後テレビを付けると死亡のニュース、偶然にも奈良旅行中に合掌……



千手観音菩薩像と鑑真和尚

2 日目バスにてホテル出発 1 時間半東大寺に境内にある戒壇院千手堂で 7 年ぶり特別公開の千手観音菩薩像と鑑真和尚を拝み 2 時まで自由時間、東大寺北側の正倉院に行くが土日祝日は休館日。東大寺まで戻り大仏見学、大仏殿の大きさに圧倒される。東大寺ミュージアム参観中、外は天気が急変大雨、なかの喫茶コーナーで休憩。雨の合間を見て昼食場所に食事中再び滝のような大雨安倍さんの涙雨か、小降りだったのでバスの

集合場所移動へ、バスで春日大社を散策しながら国宝本殿を特別参拝してバスにて近鉄奈良駅に大阪難波駅まで 2022 年 4 月 29 日運行開始の『あをによし』に乗車大阪から名古屋駅まで『ひの



とり』にて大雨の中無事帰宅
結婚して 48 年目の鉄道旅行に大満足の旅行でした。

← あをによし・ひのとり →



秋晴れの中 10月22日土曜日 10時から、大須小学校グランドで主催：大須学区体育子ども会、共催：大須学区地域福祉協議会でコロナの影響で3年ぶりに大須学区ふれあいグランドゴルフ大会が開催されました。当日は大須小学校低学年、高学年の生徒、校長先生、教師、地元の敬老会、中区社会福祉職員等の選手が70名集まり個人戦で10チームに分かれて10ホールストロークプレーをした結果、ホールインワンを出された中鯉城会の山田晴久さん(平成26年度中鯉城会長)が総合優勝をされました。



ほかに小学生低学年の部、小学生高学年の部、女性の部と、表彰者が決まりました。

得点の集計作業の合間に認知症の知識に関する〇×ゲームを中社会福祉協議会の藤井さんの司会で競技参加者全員の小学生から大人までが楽しく過ごして参加賞をもらって12時に終了しました。

10月15日大須大道町人祭

30期 伊藤 守和

私・伊藤は大須大道町人祭のオープンセレモニーで大須丸の前からの2番目左側に乗せて頂き、貴重な体験をしました。

パレード出発前に大須丸の上からおいらん道中の行列が通過したので撮影しました。 ⇒ ⇒ ⇒

(中日新聞 10月16日朝刊市民版)



「大須に元気戻った」

大勢の参加者や見物客でにぎわう祭り。中区大須で

3年ぶり大道町人祭 開幕

「大須大道町人祭」(中日新聞社など後援)が十五日、中区の大須商店街一帯で始まった。新型コロナウイルス禍による中止が続いており、三年ぶりの開催で街が活気にあふれた。十六日まで。

パレードがあり、参加者が太鼓の音や「めでたいな」の掛け声を響かせながら商店街を練り歩いた。江戸時代にソウが大須を通ったとされる史実に合わせたソウのオブジェや、華やか

「大勢の参加者や見物客でにぎわう祭り」

「大須に元気戻った」と喜んだ。十六日の開催時間は午前十一時〜午後七時ごろ。(山本拓海)

「大須大道町人祭」(中日新聞社など後援)が十五日、中区の大須商店街一帯で始まった。新型コロナウイルス禍による中止が続いており、三年ぶりの開催で街が活気にあふれた。十六日まで。

パレードがあり、参加者が太鼓の音や「めでたいな」の掛け声を響かせながら商店街を練り歩いた。江戸時代にソウが大須を通ったとされる史実に合わせたソウのオブジェや、華やかな衣装に身を包んだ花魁も登場。各地の特設会場で、大道芸人がパントマイムなどの技で来場者の注目を集めた。

祭りは一帯の活性化に向け一九七八年、商店街の有志らにより始まった。大須商店街連盟会長の堀田聖司さん(左)は「日本一元気な商店街を目指す大須に、コロナ禍前のような元気が戻った」と喜んだ。十六日の開催時間は午前十一時〜午後七時ごろ。(山本拓海)

第3回社会見学会『メタウォーター下水道科学館なごや』

10月19日(水) 8名参加 30期 伊藤 守和



当日は秋晴れの中、地下鉄名城公園駅に集合して8名の参加で『メタウォーター下水道科学館なごや』を見学してきました。

到着早々受付でコロナ対策の検温と手の消毒を済ませ、まずビデオ研修室に案内され今日の案内係の鈴木さんが紹介され、ビデオによる名古屋市の下水道事業が大正元年に雨水と汚水の合流排水方式で決まり下水道工事が開始、中区の中心部は大正12年に工事が完了、以降100年に渡って名古屋市全体の下水道事業が広がっていく様子を旭堂鱗林さんの説明により30分ビデオで学習した後に、名城水処理センターの見学に参加者全員がヘルメット着用して見学ツアーに移動しました。

- 1) 沈砂池→汚水の砂と大きなゴミを取りのぞく
- 2) 汚水ポンプ→1)の汚水を3)の沈殿池に汲み上げる
- 3) 最初沈殿池→細かい汚れをゆっくり時間をかけて沈める
- 4) 反応タンク→微生物を利用して汚れをきれいに
- 5) 最終沈殿池→上澄みのきれいな水を消毒して6)に
- 6) 堀川に放流

30分の見学ツアー後、館内の展示物の説明を受ける。

下水道事業は東海豪雨のときのような大雨で洪水にならないように、下水管の地震対策と非常時に名古屋市民が目に見えないところで、水から守って下さっていることを感謝してこの見学ツアーが無事終了、午後3時前に解散しました。



下水道の4つのはたらき

1. 街がきれいになります
2. 雨が降っても大丈夫
3. 川や海をきれいにします
4. 処理した水や泥を再利用しています



「薔薇ノ木ニ薔薇ノ花サク、ナニゴトノ不思議ナケレド」

北原白秋 詩集「白金之独楽」より

そう、確かに「薔薇の木に薔薇の花が咲く」事は当たり前の事で、むしろ、薔薇の木に他の花が咲いたら、それこそ不思議な事なのかもしれない、でも、やはり不思議なのです。

私にとって何と言っても不思議なことは“生命”と“宇宙”。“宇宙”はさておき、“生命”について、世界のすべては、水素から始まる118種類の元素で出来ていて、人間も、その90%が酸素、炭素、水素、窒素、カルシウム、リンなどの元素からできている、という。

自分の身体が元素でできているなんて、不思議で仕方がない。なかなか納得できないけれど、それならそれでも良しとしよう。しかし、そもそも元素から生命が生まれるのだろうか。

そこで又、思うのです。では、心とか感情とかは一体何なんなのだろう。

私が一人不思議がっているだけで、これらの事について既に研究されていて、答えが既に出ているのかもしれない。でも、考えながら街を歩いている時、空を眺めている時など、「ああ不思議だな～」と。。。。。

“生命”について色々考えていて、最近あらためて、産婦人科医の増崎英明という人が書かれた「胎児のはなし」を読み、私も胎児であったのだと感慨深く、興味を持って読みました。日本では法的に、胎児は人として認められなく、出生してから人としてみとめられる。胎児は、人間になる前の不思議な存在。

又、胎児になる前の受精後すぐに、自分の身体を形成する細胞より前に、未来永劫、生命をつないでいく“始原生殖細胞”というものができそうです。即ち胎児の中に、自分をつくる細胞と、子、孫の生命を生み出す生殖細胞が同時に存在する、という。何と神秘で不思議なことか。(NHK ヒューマニエンス 精子と卵子 より)

そして、胎児の時に、一番初めに腸ができ、形つくられていく人間の身体、五臓六腑がきちんと身体の中に納まっていることなど、不思議で仕方がない。

とにかく、あれもこれも不思議なことがいっぱい。そんなの当たり前、別に不思議なことでない、と思えばそれで良いのだけれど。。。。。

ある臨済宗のお坊さんが、身体の真ん中にある口、お臍、その下の生殖器を、“現在”“過去”“未来”を表していると言われた。それについては、不思議なのだけど、なぜかとても納得できてしまったものです。

2022年度第3回中区美化清掃活動は10月9日（日）矢場公園に15名が集合して行なわれました。

朝からどんよりとしたお天気でしたが何とか持ちこたえ、二手に別れて10時に出発です。中鯉城会そろいのいでたちで、各自軍手をはめ、ゴミばさみとレジ袋を持って歩道を歩きますがその前に！！

矢場公園の丸い芝生の部分で、明らかに宴会をした跡があり、とっても目障りでした。空き缶・空き瓶・菓子袋・タバコの吸い殻・紙屑・竹串にライターまでもが散らかったまま。ナディアパーク2階に入る階段にもゴミを入れたレジ袋が数個置いてあり持ち帰りをしなかったようです。誰かが片付けてくれると思ってのことでしょう！

とにかく、北の広小路通りまで歩道のゴミを拾って歩き、隣の道を公園まで戻ってきます。いつも圧倒的に多いのは吸い殻です。喫煙者は簡易吸い殻入れを持ち歩いてほしいと清掃活動の都度思うのですが、何とかならないのでしょうか。缶や瓶に残っている液体は側溝に捨てながら集め、最後に環境事業所の緑の袋に分別・収納し約1時間程で終了しました。



以前は参加者でお好み焼き屋さんへランチに行っていたのですが、今はコロナで自粛です。残念！！

衣服の断捨離

衣服の断捨離（非常に困難） どなたか良い方法を教えて下さい。

10月中旬、急に寒くなりました。今年は夏の猛暑の延長で秋の訪れはもっと先になると、根拠のない思い込みをしていました。今年の春、冬物衣服を種類別に箱に入れベッドの下に保管し、秋が深まる頃に順次取り出すことにしております。

ただ困ったことに、毎年シーズン毎に、特に冬物はいくら余分に買い込み衣料の量がだんだんと増えることです。夏物の5～6倍になっています。

については、近年流行語になった断捨離。

冬物の衣料を前に、古いもの。多分着ないだろうと思うものが半分以上あると判断し、いざ廃棄しようと手に取ると、、、これは誰かからのプレゼント、これは記念に貰った物、これは3年前に買ってお気に入り、等々それぞれ思い出や未練が湧き出てなかなか廃棄の実行が出来ません。

結論、まあ今冬を無事に越せば、次の春物に入れ替える時に「断捨離」実行しようと頼りない決断をしました。

ボッチャの会に参加して

32期 岩瀬 富美子

中鯉城会ポッチャの会を堀田会長さんが立ち上げて下さいました。昨年夏のオリンピックで日本が金メダルを取り話題になりました。最近では各地で高齢者が実施し好評の様子です。鯉城会でも既にいくつかの区会で研修会が行われています。ポッチャ協議のルールなどは中区福祉協議会の担当の方から詳しくご指導ください。



第1回は5月から始まりました。初めてボールを手に、意外と重い・・・柔らかい・・・と戸惑いながら投球姿勢に入ると「ライン踏んでいるよー」との声にスローイングボックス内に足を納め直し、ジャックボール目掛け投球するも、なかなか思う場所や方向に飛んでくれない「惜しい!」、「ああ、いいねえ〜」と飛び

交う応援が又楽しく、練習を重ねるごとにジャックボールをめがけて投げるルートを考えたり、ボールの持ち方、ボールの投げ方などと真剣な気持ちになって来ました。

ポッチャ競技は、ハードな動きや走りがなく、今の私には気持ちよく競技ができ楽しく参加しています。皆様ご一緒に楽しみましょう。



2022年（令和4年）10月1日
3年ぶりの「鶴舞クリーンキャンペーン」が開かれました。

当日はよく晴れて暑い日でした。奏楽堂の東側、午前9時45分に集合。中鯉城会より9名、中区在住の鯉城学園の学生16名〔34期生（2年）4名、37期生（1年）12名〕合わせて25名の布陣で、大谷鯉城会顧問の開会の言葉を受け作業開始です。

今回はコロナ感染を考慮して公園内を4ブロックに別け、中区はBブロック（中・中村・昭和・瑞穂）さらにブロック内を4つに区切り、中区は竜ヶ池まわり及び菖蒲池の北側が担当。作業区域も狭く、もともと公園内は手入れが行き届いておりゴミ自体が少ないのですが約1時間かけて、楽しくおしゃべりをしながら作業の手を止めることなく進めました。

「鶴舞公園クリーンキャンペーン」は約350名以上参加の大イベントであり、これからも実施するそうです。



「クリーンキャンペーン」終了後、当日の突然の呼びかけにも拘わらず快く受けていただいた34期生2名・37期生3名計5名の学生さんと中鯉城会の8名合わせて13名で「キッチン千代田」にて昼食会を開きました。堀田会長から中鯉城会の取り組みが紹介され、卒業後鯉城会への入会の呼びかけがありました。その後、参加者の自己紹介等一人ひとり行い、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

ボーリング大会

With コロナの中の8月10日、中鯉城会始まって以来、初のボーリング大会を開催。中川区松重町のディグワールド名古屋に10名が集まりました。投げ方もルールもみな昔取った杵柄、迷いはありません。どんどん投げ込み、ストライクやスペアーに。拍手が沸き上がります。点数は二の次で、皆で楽しいひとときを持つことが目的ですが、実はボーリング、「力より技」が重要で、高齢になってからもスコアを伸ばすことが可能で、80代90代のプレイヤーも珍しくないようです。筋力や関節の可動域を維持するなどの効果もあるそうです。来年2月8日には第3回を開催します。皆さん、奮ってご参加ください。

ドラゴンズファン歴 68 年です。中日球場で天知監督の下でセリーグ制覇そして日本シリーズで日本一になったのがつい昨日のように思い出されます。街の中でラジオに群がって聴いている群衆の中に入り、勝利の瞬間を聞きました。最高殊勲選手は杉下茂投手 (最多勝利 32 勝、防御率 1.39)、一塁手、西沢道夫、ライト、杉山悟、覚えています。その後も A クラスは続きましたが、20 年間優勝から遠ざかりました。星野仙一、落合博満時代は元気な時代でした。しかし、2011 年以来優勝だけでなく A クラスも厳しい時代が続いています。



2022 年ミスタードラゴンズ立浪和義監督になり、春の沖縄キャンプを見に行きましたが、コロナで監督不在の沖縄北谷球場でした。今年も毎月 1 回のペースでドーム観戦に出かけました。5 月 6 日の対阪神戦の試合は過去に経験がない盛り上がりでした。大野雄大投手が 9 回まで完全試合ペース、しかし、中日も得点なしです。結局、10 回ツーアウトから佐藤輝明 (阪神) に二塁打を打たれましたが、その裏に

石川昂弥がタイムリーでサヨナラ勝ち、最高でした。ヒーローインタビューも大野、石川共に楽しい応答でした。仕事をしている頃は野球を見に行くのも時間が取れなくて、ラジオかテレビ観戦が中心でした。しかし、リタイア後は毎月出かけています。昔の中日球場、今のナゴヤ球場での二軍戦も時々見に行っています。思い返せばこの中日球場で 10 代の頃はアルバイトをしていました。入場券のモギリです。7 回の裏になると仕事が終わってバックネット裏で見ることができました。若い時の思い出が頭をよぎりますが、やはり強いドラゴンズでないと楽しくありません。今年のドラフトではキャンプ地、読谷村出身の仲地礼亜 (沖縄大学)、明治大学の村松開人など指名しましたが、何といても 4 番の長距離砲が必要です。

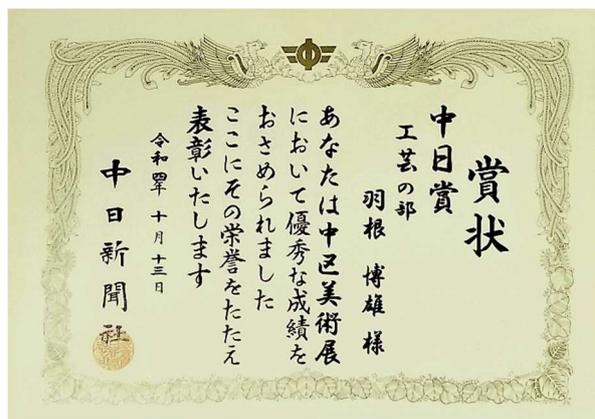
来年こそは 11 月でも試合が楽しめる強いドラゴンズを期待しましょう。



羽根 博雄さん、おめでとうございます !!

28 期 水野 勇

令和 4 年度中区美術展で 22 期 羽根 博雄 さんが 工芸の部で「中日賞」を受賞されました。



羽根さんからの一言

「今回、中区美術展工芸の部に陶芸で備前焼鉢を出品し中日賞を頂きましたが、いつも大島澄代さんは写真で、また浅井康博さんは以前 陶芸で賞を貰っています」

第 11 回鯉城・堀川清掃大作戦に参加

33 期 堀田友三郎

11 月 5 日 9 時 20 分に納屋橋ジャムズガーデンに着き、9 時 30 分から市議、名古屋市経済局代表等のあいさつの後、堀川をきれいにする「川ドローン」の実演を見てから清掃活動に入りました。堀川、新堀川一帯を 300 名余りで鯉城学園学生、各区鯉城会、一般企業からの参加もありましたが、コロナ禍なので 1 団体 10 名以下と言う人数制限もあり、中鯉城会は 5 名の参加でした。

鯉城学園文化専攻の皆さん、明治安田生命の社員さん達と一緒に清掃活動を行いました。皆さん、どうもお疲れ様でした。



2022年 第16回中鯨城会 趣味の作品展目録

写真番号	期 専攻	名 前	題 名
1	28 国際	荒川 萬理子	メリークリスマス
2	22 陶芸	浅井 康洋	あと3カ月(朝護孫子寺)
3	22 陶芸	浅井 康洋	ふらりフラリエ
4	26 美術	菅原 節子	いつもなかよし
5	28 文化B	中川 健次郎	わが家のワンチャン
6	29 文化A	大島 照代	憩い
7	30 地域A	岡本 洋造	昔の中国の風景
8	32 美術	長井 淳子	加茂ナスと万願寺唐辛子
9	32 美術	長井 淳子	街中の木
10	16 文化A	松井 香保里	絵手紙 花
11	28 文化A	成瀬 雅子	絵手紙 花など
12	28 福祉	山川 富久	絵手紙 花いろいろ
13	28 環境	吉川 京子	絵手紙 花
14	18 福祉	小倉 靖生	聖観音菩薩
15	18 福祉	小倉 靖生	世界一美しい蝶々
16	22 国際	河村 美津子	あの頃に還りたい
17	22 国際	河村 美津子	仲間たちよ
18	28 生活A	水野 勇	ローマの休日
19	30 生活A	河合 知子	紅型型紙
20	23 生活B	多川 裕弘	溪流
21	29 国際	鈴木 守宏	オブジェ
22	29 国際	鈴木 守宏	富士山は雲の中
23	26 環境	山田 晴久	金閣寺
24	26 環境	山田 晴久	古都
25	26 環境	山田 晴久	天の橋立
26	22 福祉	北川 康代	在るがまゝに
27	24 福祉	西川 淳子	山行
28	28 文化A	成瀬 雅子	川柳
29	30 地域B	木原 榮二	川柳
30	33 健康A	堀田 友三郎	川柳
31	28 福祉	山川 富久	短歌・傘寿越えて
32	27 文化A	山岡 紀代子	短歌・短冊3枚
33	22 陶芸	羽根 博雄	
34	27 文化A	山岡 紀代子	折り紙 5枚
35	33 生活A	和氣 明美	はらぺこあおむし
36	32 地域A	岩瀬 富美子	リメイクで 帯をショルダーバッグに (2点)
37	32 地域A	岩瀬 富美子	リメイクで 着物をコートに
38	29 文化A	安藤 啓子	カラーと蓮



2



3



4



5



6



7



8



9



10



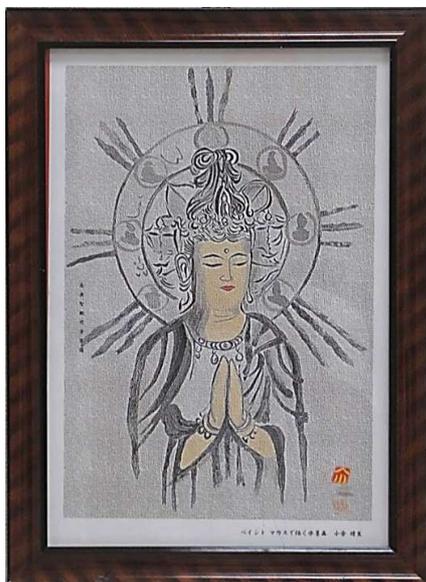
11



12



13



14



15

18



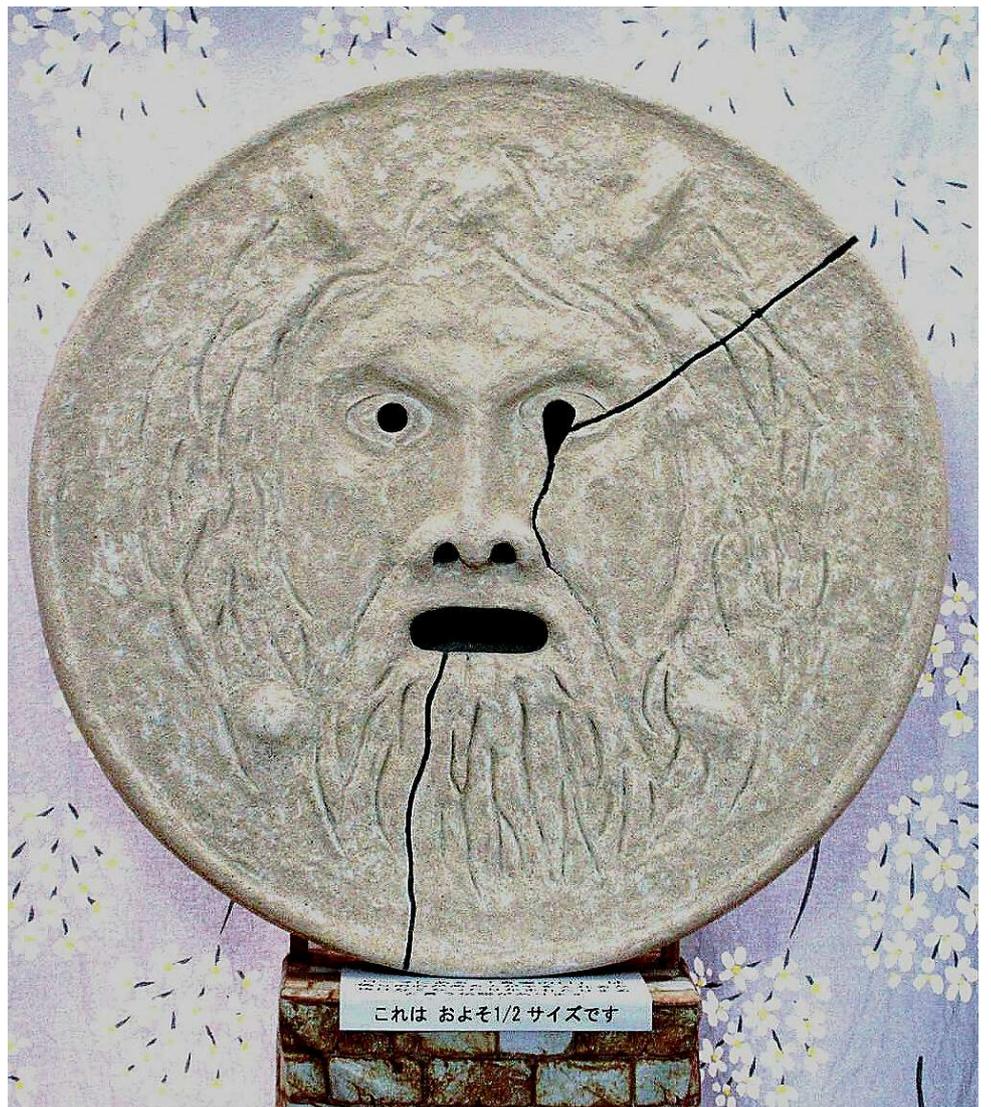
16



17



1



18



19



20



21



22



23



24



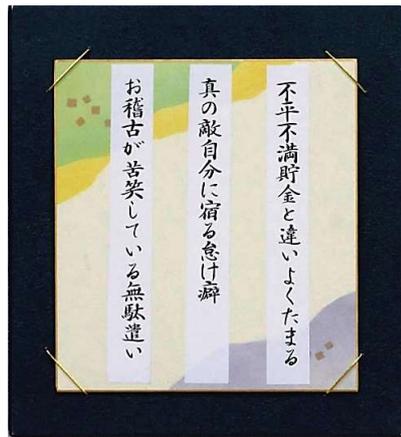
25



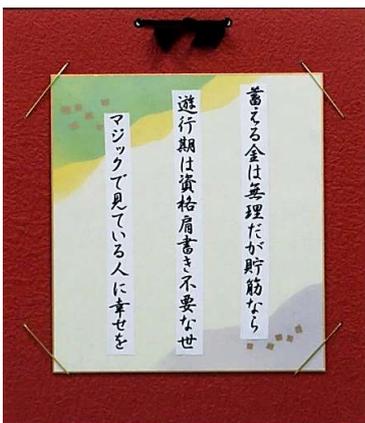
26



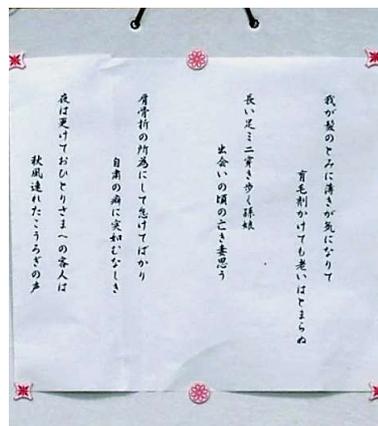
28



29



30



31



27



32



34



33



36



35



38



23

22期 浅井 康洋 作品 No 2・3

毎年5月に中鯉城会から「趣味の作品展」応募案内が届く。もう、その時期か！入会以来、水彩画を出品し続けており、これは自分のノルマに感じるようになってきた。今回は何を描こうかの悩みが快いストレスと刺激になって、元気なうちはと干支の「虎」とご近所の「フラリエ」を出品しました。

22期 河村美津子 作品 No 16・17

「参加することに意義がある」クーベルタン IOC 会長の言葉ではないが、稚拙で恥ずかしいと思いつつ、毎年出展させていただいています。この機会があるは、偏にお世話をしてくださる皆さまのお陰だと感謝しています。また、皆さまの力溢れるいろいろな作品を拝見できるのも大きな楽しみです。今後ともよろしく願いいたします。

22期 北川 康代 作品 No 26

中鯉城会の「趣味の作品展」も第16回。私が初めて出展した頃は会場がなかなか決まらず、役員の方が大変苦労されていたことを懐かしく思い出しました。市政資料館で開催されるようになり今回まで継続されており、担当の役員の皆様のご尽力に感謝しています。今回は久しぶりの出展、「在るがまゝに」は「肩ひじ張らない、背のびしない、自然のままに」という今の自分を6文字で表現しました。初めて見に来てくれた娘は「いろんなジャンルの作品が展示されており、結構おもしろい作品展だったね！」という感想でした。

23期 多川 裕弘 作品 No 20

中鯉城会に入会した平成22年の第4回の作品展から写真を出しています。毎回自慢できるような作品を出すことはできませんが、毎年良い作品を出せるようにと撮影に出かけています。作品展に出展される方の作品はどれも素晴らしく、もっと多くの方に見ていただくと良いと思っています。毎年出展されていた方の作品が見えなくなり寂しく思う反面、新しく入会された方の素晴らしい作品を見ることができ嬉しく思っています。

26期 菅原 節子 作品 No 4

今回の「きんぎょの絵」は孫のお友達の家と一緒に遊びに行った時に撮影した写真を参考にしました。水槽の中にいっぱい色々な種類のきんぎょが楽しそうにぐるぐるぐるくと回って泳いでいるのを見ていたら楽しくなり、何か幸せをもらった気持ちになり描いた作品です。

28期 荒川 萬里子 作品 No 1

可愛いサンタクロースに惹かれて刺しました。
目数を数えるのに悪戦苦闘の日々でしたが、無事仕上げた時の喜びは格別のもの
でした。

28期 成瀬 雅子 作品 No 28

今年は木原榮二さん、堀田友三郎さんの強力な協力があり順調でした。感謝！
「思い立ったが吉日」です。興味のある方、是非声をかけてください。

- ・絵手紙 全く上手にならないけど続けることに意義あり、と。
- ・柳紙（めいばん）の展示及び配布「楽しい川柳始めませんか」

28期 水野 勇 作品 No 18

映画を見て「素敵だなあ」と思いながら、いざ作り始めたら??? 続きで、口に
手が入る様に全体のサイズから、音が出れば面白いかも? どうすれば石に見えるの
か? そして最後は 本当に完成できるのか? 等々試行錯誤の連続でした。

静かな会場でおかしな音を発しても良いのか? ダメならスイッチを切れば良し。
作品名を「真実の口」から「ローマの休日」に変更。

皆さんの真面目な作品の中、申し訳ありませんが、全てが楽しい遊び心でした。

28期 山川 富久 作品 No 12・31

中鯉城会最大イベント・作品展に絵手紙と短歌で参加。両作品とも認知症予防の
為に維持している。今回も作品に対する意見なく、ただ短歌は「パソコンでなく毛
筆作品ですよ」と言われた。次回は毛筆で書道作品ではなく短歌出展でチャレンジ。

未展示作「私の人生短歌」を披露。

「病む妻は 涙乍らに吾をみつめし 幼児ごとくただありがとう」

「宮崎の宿 2つの床を引き寄せた 旅の思い出ああ半世紀」

「くい込みて 抜けぬ包丁人質に 南京野郎を湯浴みさせる」

29期 安藤 啓子 作品 No 38

「作品『ローマの休日』について 感想」

ヘアバーンのワンシーンを思い出し、自分も口の中へ手を差しのべ、いたずらの
つもりが ♪～♪～♪ が流れドキッとした瞬間 感動しか思い出しませんでした。
すばらしい作品、これを製作にあたり広い作業場大変でしたね。

妻に感謝して下さいね♥ そして足ばやに某学園から教材にと飛んで行きました。
とにかく一言でスバラシー作品でした !!

29期 大島 照代 作品 No 6

今回の絵は10年ぐらい前の作品です。

今は先生が引っ越されたので絵は描いていませんが、先生がこの絵を気に入って下さり以前から東京都美術館での展覧会に出さないかと言われていたので、やっとの思いで「最初で最後」と出した作品です。

29期 鈴木 守宏 作品 No 21・22

皆様、非常に優れた作品ばかりで私の写真は見劣りした次第です。写真2枚出展しました。

① オブジェ

かぼちゃのオブジェです。絵画、彫刻家の草間彌生、松本市出身、92歳。鳥羽のホテルの庭園に展示していましたので2021年11月に撮影しました。

② 富士山は雲の中

静岡県駿河湾に突き出した山の裾にある薩埵（さつた）峠まで登り、2022年5月に撮影しました。当日は雲が多くて富士山が見えませんでしたが高速度道路が良く見えたので撮りました。また来年チャレンジしたいと思っています。

30期 河合 知子 作品 No 19

今回の作品は、それに合う額が見つからず、有り合わせの額で出しました。そのため硝子が無くむき出しになってしまい、でも逆にそれが紙の質感がわかって良かったと思っています。物を作り上げる事はとても楽しい事です。

30期 木原 榮二 作品 No 29



昨年に続き出展は「川柳3句」としました。純粋な作品展の趣旨に少々反するかもと思いながら「川柳同好者」を例えお一人でも増やせないかとの期待を持って拙句を出展しました。

来場者に拙句「不平不満 貯金と違いよくたまる」を読んで貰うと、異口同音に「面白い」「ご尤も」「同感」等の反応があり、多少とも川柳に関心を持って戴いたかなあと、嬉しくなりました。川柳の小冊子約70部を配布、少しでも反応があればと期待しています。

32期 岩瀬 富美子 作品 No 36・37

～～ 着物と帯をリメイクでコートとバッグに！～～

若かりし頃の着物や帯は、今着る事もなく箆笥に眠っている。なんとか形を変え使うことが出来ないものかと思い、最近必要としていた事を思い出して、A4サイズの資料がゆったり入るバッグがあると良いのではと早速作りました。資料は入る、お茶は入る、携帯は入るととても便利に使える、ヤッターと思えました。

娘たちがこのバッグを見て、いいね・・・私も欲しいと言い出し、作って持たせたところ、便利で毎日使ってま～す と好評のようでした。

帯はこのへんで終了。次は着物をコートに出来ないかと思いつき、早速着物を解き反物になるまで手間暇かけて、ようやくコートの型紙を置き縫い始める。楽しみながらの出来上がりでした。果たして着てくれるかしら！ 微笑んで・・・。

33期 和氣 明美 作品 No 35

今年はフェルトで作った「おもちゃ」を出展しました。

アメリカの絵本作家 エリック・カールが妹のクリスタのために作った本だそうで、世界中の子ども達に読まれています。

1mm 足らずの小さな卵があおむしになり、葉っぱやリンゴ、洋梨をむしゃむしゃ食べていきます。ページにも丸い穴が空いている仕掛け絵本で、最後はきれいな蝶に変身します。

色の鮮やかさ、ソフトクリームまで食べてしまうユニークさが孫たちは大好きでした。私はこのおもちゃを3セット作り、それぞれの家に配りました。今はすっかり大きくなり出番はなくなりましたが、10年？20年後？「これは大きいばあばが作ったもので、小さい時に遊んだよ」と、次の世代の小さな手に渡ることを夢見ています。

『皆さ～ん どうもお疲れさまでした♥』





名古屋市高年大学鯨城学園
中鯨城会

中鯨城会皆様のご協力で第43号が完成出来ました
どうもありがとうございました

発行：中鯨城会・名古屋市高年大学鯨城学園
発行責任者：中鯨城会会長 33期 堀田友三郎
編集：水野 勇 伊藤 守和